

それいゆ

いなぎの女性情報誌



内 容

- いなぎの女性(ひと)
～稲城市都市建設部の土木技術職員～
- イキイキパパが社会を変える!
～城山小学校 熱血組!(親父の会)を紹介します～
- 男女平等推進セミナーⅠ
「イキイキママの再就職!」実施報告
- 男女平等推進セミナーⅡ
「デートDVって何?」実施報告
- 男女平等推進センターのご案内

vol.24

2012

稲 城 市

いなぎの女性(ひと) 土木技術職員

今回は、稲城市都市建設部のおか めぐみ岡 愛海さんです。

岡さんは、土木技術職として昨年度入庁しました。土木の分野はまだまだ女性が少ない状況ですが、なぜ土木を選ばれたのか、そしてどのような仕事をしているのかお聞きしました。



土木技術職になることを選んだきっかけや動機をお聞かせください。

もともとは、建築関係に興味がありましたが、大学進学にあたり、学部や学科を調べているときに、土木と出会い、建物以外にも河川や鉄道、橋などの「まちづくり」にも興味を湧かしたため、結局、土木の方に進学しました。

また、自然環境や景観などにも興味があったため、土木の方が自分に向いているのではないかと思いました。

就職に向けては、建設系のコンサルタント会社、環境系のコンサルタント会社なども視野に入れていましたが、「まちづくり」に幅広く関わることができるのは、市役所だと思い、入庁しました。

建築に比べ、土木の分野に女性が少ないことについて多少の不安はありましたが、だからといってやめようとは思いませんでした。

今、担当されている仕事の内容を教えてください。

所属している緑と建設課緑と公園係のおもな業務は、公園・緑地の設計施工、緑の保護・緑化推進に関することです。

私は主に、公園・緑地に関する工事を担当しています。古くなった遊具の取り替え、駐車場の改修、植栽の植え替えや芝生の張り替えなどです。昨年度は、中央公園にある複合遊具の再設置を担当していましたが、工事期間中は、ヘルメットを被り現場に足を運びました。今年度も上司の指導のもと公園・緑地の改修工事の設計施工に取り組んでいます。その他には、上谷戸ホテルの夕べなどにも携わらせていただきました。

実際に仕事に就いて、土木技術職に対するイメージが変わったということがありますか。

土木というと職人気質で怖そうな（厳しい）イメージがありました。でも実際には、職員の方も業者の方も皆さん優しい方ばかりでよかったです。

土木技術職として仕事をする上で、女性でよかったことや困ったことなどがありますか。

今はまだ女性は珍しいということもあり、すぐに覚えていただけることです。困ったことでは、業者の方から「担当者は？」と聞かれ「私です」と答えると「えっ？」という顔をされてしまうことがありました。

また、民間企業に就職し、建設現場に入っている友人からは、女性専用の更衣室やトイレがなく困ることがあると聞いています。

これからの夢、目標はありますか？

都市建設部は「まちづくり」に関して、計画から完成まで関わることができる部署なので、自分も幅広く「まちづくり」に関わっていきたいです。そして、将来市民の皆さんが「良いまち、ステキなまち」と自慢できるようなまちをつくっていきたいです。

最後に土木技術職を目指したいという人へのメッセージをお願いいたします。

「土木」というと何をやっているのかわかりにくいかもしれませんが、道路、橋、上下水道、河川、公園、鉄道、自然環境など建物以外の「まち」にほとんど関わっていると思います。

調べていただくと「へえー！」と新しい発見があると思いますので、一度、土木について調べてみてください。

また、理系ということもあり女性の方は敬遠しがちな分野かもしれませんが、興味があればぜひ挑戦して欲しいです。長年、男性中心の業界だったため、女性の土木技術職はまだまだ少なく働く環境が整備されていないところもありますが、女性が増えていかなければ周りの環境も整っていかないので、一緒にがんばりましょう。

結びに

土木の分野で女性が少ないことは、大学入学の時から承知していたという岡さんですが、取材の途中では、「女性は敬遠される分野だと思うけど、一緒にやって欲しいなあ」と本音が出る場面もありました。今後、女性の土木技術者が増え、活躍されていくことを期待します。

土木を目指している方、ぜひ、頑張ってください。岡さん取材にご協力いただきありがとうございました。



イキイキパパが社会を変える!~城山小

〔城山小学校 熱血組! (親父の会)代表 橋 謙太さんインタビュー〕

どのような目的でできた団体ですか? 会員は何人くらいいて、活動しているのはどのような人たちですか?

4年前に、当時の城山小学校の副校長とPTAの組織『城山の会』会長が、お父さんの活力を活かそう、小学校にお父さんにもっと足を運んでもらおうという趣旨で音頭を取って発足しました。ただし、『城山の会(PTA)』とは別組織です。会員数は、名簿上は現在70人ほどいますが、実質的に関わってくれているのはその約半数。さらに中心メンバーは15人ほどでしょうか。城山という地域性のためか、自営業の方もいますがサラリーマンのお父さんが多いです。

日頃どのような活動をしているか教えてください。

約2ヶ月に一度、定例会と親睦会を土曜日の夜に開催しています。定例会1時間、親睦会3時間くらいでしょうか(笑)。今年で発足4年目ですが、昨年までは小学校や『城山の会(PTA)』のイベントのお手伝いがメインで、定例会は行っていませんでした。今年度から、数人のお父さんと「自主的に、もうちょっと気合い入れて行こう!」ということになり定例会を行うようになりました。ですので、定例会の議題はたくさんあります。名前も『親父の会』から『熱血組!』に12月に変更したばかりです。

夏には、城山小学校で独自のイベント『お化け&スイカ割大会』を開催して、児童約110人が参加してくれました。準備は大変でしたが、父ちゃん達がー丸となり、また当日は第三小学校や第四小学校のお父さんも手伝いに来てくれて、かなり盛り上がりました。「来年もやってね!」と子どもらに言われて、やって良かったなと思っています。他にも市民水泳大会に出場したり、バーベキューをやったりしています。

活動をしていて、楽しいことや困ったことなどありますか?

楽しいことは、なんと言っても多くの子どもらと接することができることです。子どものための組織ですから。街を歩いていて、子どもやその親御さんから話かけられる機会もグッと増えます。そういう機会に触れたお父さんはテンション上がるみたいです。うれしいですね。やっぱり。また、会社を離れた仲間と愚痴を言ったり、励まし合ったりするのは、楽しくて貴重な時間ですね。

困ったことですか? 困ったことというか希望なんですが、私は去年の震災以降、東北にボランティアで足を運ぶこともあるんですが、現地では、お父さん、男性のメンタル的な復帰が、お母さん、女性、子どもより遅いと聞きます。会社と家の往復ばかりの生活をしていると地域との関わりが希薄で話し相手が少なく孤立しがちのようです。仮設住宅にお邪魔してもお父さんはなかなか出て来ないんですよね。

『熱血組!』は、そういったお父さんと地域、小学校との橋渡しになればいいなと思っています。

これからの目標などはありますか?

今年、夏のイベントが成功したので、もう一つくらいイベントがやればなあと思っています。来年度に向けてなんとなくみんなで案出し中です。お父さんというと外遊びのイベントが多いので、あえてインドアのイベントなんかも、って先日の定例会で話しが出ました。会員のお父さん、意外に料理の上手い人

学校熱血組！(親父の会)を紹介します～

が多いんで、子どもらと料理作ったりするのは楽しいかもですね。

あと、稲城の小学校は、2012年12月現在、親父の会の組織が11校中、7校あります。11月に各校の代表が集まって話し合いをしたんですが、3月に大きな会合*を開く予定です。第四小学校のお父さんが中心になって、何かしでかそうと画策中です。私も事務局をやっていますが、何かのうねりになればと思っています。

★『稲城おやじの会サミット』3月16日(土)開催。場所は地域振興プラザ。詳細は事務局(inaginooyaji@aol.jp)まで。

「それいゆ」を読んでいる方へのメッセージをお願いいたします。

12月に『熱血組！』に名前を変えたのには、色々意味はあるんですが、その中の一つとしてお母さんにも入会して欲しいので“父”の文字を削除しました。そう『熱血組！』はお父さんの組織として発足していますが、お母さんの入会も大歓迎なんです。シングルマザーも増えていきますね。それに『城山の会(PTA)』の会議等の活動は、平日、日中です。『熱血組！』や保育園、学童クラブの保護者会では、想定していない時間帯です。現在、『城山の会(PTA)』は共働きの役員の方が多くなっているんですが、今までの慣習から、そうなっちゃってるみたいなんです。働いている人には結構負担ですよ。平日、日中。年休足りなくなっちゃう。個人的には、一PTA会員として先生の負担が少ない授業のある土曜日の開催にならないかな～って(笑)。市内でも実際に土曜日に活動しているPTAもありますからね。現在、共働き世帯と専業主婦世帯の比率は、2000年を境に共働き世帯の方が比率が高くなって、かつ、年々増加しているじゃないですか。共働き世帯は無視できない存在のはずなんです。

それで、各校、親父の会が出来て、お父さんの受皿は出来つつあるんですが、やる気のある貴重な共働きのお母さんの受皿がないのが現状です。私は、稲城市の学童クラブ保護者会の集まりである『れんきょう』の代表も務めていますが、学童クラブ保護者会や保育園の保護者会で、バリバリやっている、やっていた保護者を多数知っています。『熱血組！』がそういった方の受皿になれば、城山小学校がもっと活力ある学校になるんじゃないかと思ってるんです。って先日、PTA会長にその話をしたら「『熱血組！』が共働きの受皿になってもらっては困る。『城山の会(PTA)』も変革の時期に来ているので検討していく予定なんです！」という力強い言葉をもらっちゃいました(笑)。ライバル(?)の『城山の会(PTA)』期待しています！

なんで『城山の会(PTA)』とは連携して楽しく城山小学校を盛り立てていきたいですね。

(このインタビューは2012年12月に実施しています。)

※橋さん、『熱血組！』の皆さん、取材にご理解ご協力いただきありがとうございました。

今回は、橋さんの熱く!?楽しい人柄が伝わるように、口調をそのまま文字にしています。



定例会の出席は任意なんで12月の会は少なめ。この後、親睦会で大盛り上がり!(一番左側が橋さんです。)



スイカ割り大会の一コマ。子どもより父ちゃん達が楽しんでます。

実施しました

男女平等推進セミナー

市では、男女がお互いの生き方を尊重し合える社会の実現に向けて、男女平等推進セミナーを開催しています。今年も11月に地域振興プラザにおいて実施しました。セミナーの様子と参加者の感想を一部ご紹介します。

男女平等推進セミナーⅠ

「イキイキママの再就職！～楽しく学ぶ再就職活動実践法～」

実施日時：平成24年11月6日(火)10時00分から12時00分まで

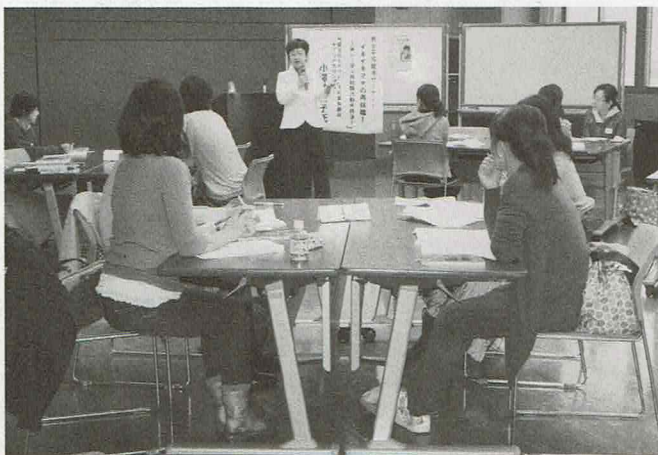
講師：小澤佳代子氏（有限会社モアフレンズ代表取締役、キャリアカウンセラー）

結婚、出産を機に離職する女性は依然多い状況ですが、この不況下において子どもがある程度成長したら、再び仕事に就きたいという方が増えています。

今回のセミナーでは、育児中の再就職に悩んでいる女性に向けて、育児と仕事の両立や実践的な再就職活動についてご紹介しました。一時保育つきのセミナーだったため、多くの申し込みがありニーズの高さを感じました。

講師は明るくパワフルな人柄で、ユニークなお話しされていましたが、参加された皆さんはとても真剣で、熱心にメモを取りながら聴き入っていました。

主婦生活が長くなると、社会との接点も少なく再就職活動に踏み切れないようですが、主婦活動も職務経歴書への書き方によってはキャリアになるということや、面接は背伸びしないで等身大で望むべきなどの講師からのアドバイスを受けて、皆さん、勇気づけられたようです。



当日参加者の声

●昨夜、子どもが夜泣きして今日とはとても寝不足でしたが、先生の話がとてもテンポ良く、眠くなる時間が全く無く、話の内容がすべて頭に入ってきました。今後の就職探しに大いに役立ちそうです。続編があると嬉しいです。

●職務経歴書の書き方で主婦時代や趣味のこともキャリアになることを知り、表現や書き方等参考になりました。大変勇気づけられました。

●職歴が少なく、社会復帰に自信がありませんでしたが、先生のお話を聞いて勇気が湧いてきました。

●前向きなパワーあふれる元気な内容でした。また、小澤先生のお話を是非聞きたいです。

●大変勉強になりました。自分が思っていたことと実際に採用されることは違うことがわかって、自分の考えを改めようと思いました。

●なかなか再就職のための知識やセミナーに出会えなかったのですが、今回のセミナーで今時の就活の仕方、面接のポイントが聞けてよかったです。

●なかなか専業主婦から抜け出せないの、社会に出る良いきっかけが作れて良かったです。

男女平等推進セミナーⅡ

「デートDVって何?～子どもたちを加害者にも被害者にもしないために～」

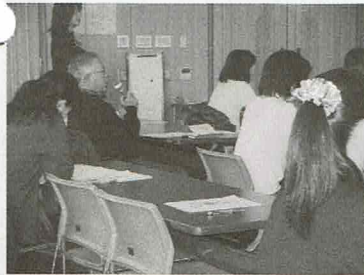
実施日時：平成24年11月27日(火) 13時30分から15時30分まで

講師：栗原加代美氏 (NPO法人女性・人権支援センターステップ理事長)

今回は、若者たちの間ですでに広く起きているDV、デートDVについて取り上げました。

当事者は加害者、被害者になっていることに気づきにくいと、周囲の気づきが必要であることから、主に保護者を対象としました。内容的には、年齢を問わずDVとはどういうものが、また防ぐ方法について学んでいただきました。当日は、DV被害に遭われた方の体験談を伺うことができたのですが、その体験談を聞いて皆さん衝撃を受けられていました。

講師の提案で、セミナーの最後に参加された全員から感想を発表してもらいました。発表することにより自分の理解が深まり、また他の人の発言を聞くことにより新しい気づきにつながりました。



DVについて知らなかった人や理解できなかった人にも周りに発生しているという現状を知っていただくことができ、また知っていた人には理解を深めていただくことができました。

当日参加者の声

● セミナーを通じて、相手に対して寛容の心をもつことが男女関係を築いたり、社会生活を送っていくうえで大切であることが認識できた。また、自分の中にも隠れた要因があることを知り、決して他人事ではない、自分事であると肝に銘じて、一旦、とまって考える余裕を持ちたいと思った。

● 大変な体験をされたのに、私たちの前でお話していただきありがとうございました。自分自身も、加害者、被害者になる可能性があるという意識を持ち、パートナーや家族とつき合っていると思いました。

● デートDVの被害者の方のお話がとても具体的で、情景が目に見えるようでした。DVをする人を選んでしまうとのことでしたが、何か予防策はないのかなと疑問に思いました。夫もかつてDVをしていたのが、DV加害者更正プログラムを通して暴力をしなくなったというのには驚きました。(加害者は変わらないという認識だったため) 被害者の方にお話を直接伺う機会は滅多にないことから、とても参考になりました。辛い体験をお話するのは、とても苦しいことだと存じます。

● とても勉強になりました。栗原さんの豊富な知識と経験されてきた事象をお話していただき、より理解が深まったと思います。

● 参加者の方々の発言がとてもよかったです。参加者の皆さんが周りに種をまいてほしいです。

● 今後もこのような勉強会を積極的に開催していただきたいです。

● 体験談がとてもリアルで心が痛かったです。

● デートDVとパワーハラスメントが非常によく似ていると思いました。

● 体験者の方のお話はリアルで恐怖を感じました。

ご利用ください。男女平等推進センター (地域振興プラザ1階)

施設紹介

* 開館時間は午前9時から午後10時。
休館日は第2火曜日と年末年始です。

●施設の詳細については、稲城市地域振興プラザ1階の協働推進課へお問い合わせください。

打ち合わせコーナー

10名程度の話合いに利用できます。

キッズルーム

活動時の一時保育や授乳にも利用できます。

印刷室

印刷機、コピー機、拡大機、紙折機があります。(有料)

相談室(いなぎ女性の悩み相談)

さまざまな悩みについて専門の相談員が親身になって対応します。

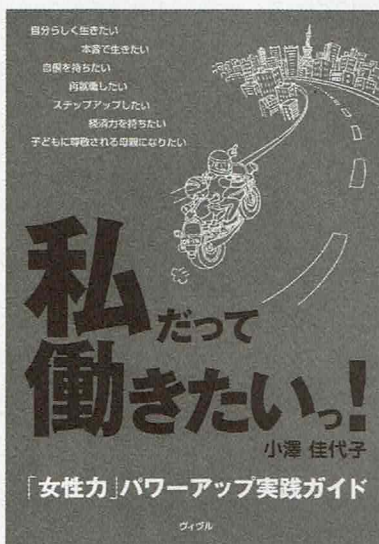
(男性も水曜日は相談可)

◆毎月第1・3水曜日、第4土曜日(要予約)

情報資料コーナー

情報検索用のインターネットパソコンの利用や、書籍・行政資料・啓発ビデオなどの閲覧及び貸出しができます。

(貸出しは2冊を2週間まで)

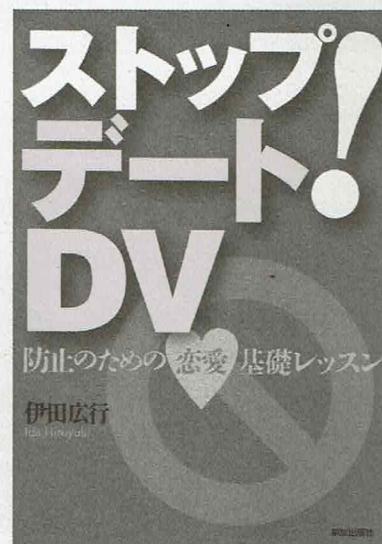


★私だって働きたい! 「女性力」パワーアップ実践ガイド

著者 小澤佳代子(有限会社モアフレンズ代表取締役、NPO法人WING21理事長)

再就職を目指す女性たちが不安に思っていることや、実際の就職活動を始めてからぶつかる諸問題について著者自身の経験を交えながら書かれています。小澤氏の明るくパワフルな人柄が本から伝わってきて、読むだけで再就職に向けた勇気が出る一冊です。

お薦めの図書のご紹介



★ストップ!デートDV 防止のための恋愛基礎レッスン

著者 伊田広行(立命館大学・神戸大学非常勤講師、立命館大学大学院・先端総合学術研究科非常勤講師)

DVとは何か、「束縛にまつわる問題」や「DVとそうでないものを見極める視点」など、いろいろ疑問にQ&Aでわかりやすく書かれています。「普通の恋愛が危ない!」として、よく知られているマンガやドラマの中でもDVを容認する表現が多くある事例を紹介しており、DVが身近で起こっていることに気がかされます。DVについて理解していただくために、ご一読いただきたい一冊です。

ご利用
お待ちしております



それいゆ Vol.24

平成25年2月発行

編集発行/稲城市企画部協働推進課女性青少年係
稲城市東長沼2112-1(地域振興プラザ内)
電話 042-378-2112

誌名の『それいゆ』は、雑誌「青鞥」の創刊の辞として有名な「元始、女性は太陽であった」の太陽の意味です。やさしい響きのフランス語をひらがなに置き換えました。市民からの公募で命名された愛称です。『それいゆ』の発行は男女平等推進いなぎプランに基づく事業です。